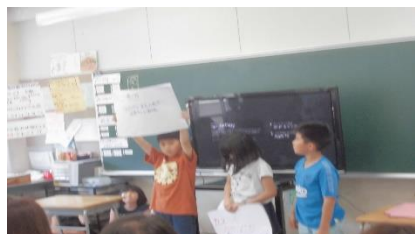


子どもがつくる西湖宿泊体験学習(5年)

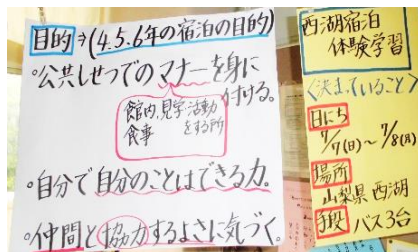
自分の力でかがやく

7月7日(日)～8日(月)、5年生が富士河口湖町西湖へ宿泊体験学習に行きました。

今年度は、事前学習に力を入れました。子どもたちの主体性を育むため、日付、場所、交通手段、目的(ねらい)のみを伝え、西湖の様子を調べ始めました。「自然の多い西湖へ行くのだから樹海散策や洞窟巡り、カヌー体験、湖畔のサイクリング、釣りができるのではないかな。」と、体験内容を自ら考えていました。西湖や富士河口湖町の魅力についてまとめ、保護者に向けて趣向を凝らした発表をすることで、関心や期待が一層高まった様子でした。



カヌー体験について
画用紙をつかって説明中!



事前学習前に伝えた情報は
たったのこれだけ!



iPad やテレビを使って
樹海について説明しています!

宿泊体験学習に向けて立てたスローガンは“「仲良く」「協力」「けじめ」をつけて自然を味わい5年生のはしごをのぼろう”です。瞳を輝かせて出発式に臨む姿からは、目的をもって体験学習に行くぞ! という意気込みやワクワクした気持ちが伝わってきました。大きな荷物をかかえてバスへ乗り込み、いざ出発!! 車内では、実行委員が考えた様々なレクで盛り上がり、あっという間に富士河口湖町へ・・・。



体験学習のスローガン!

まず見学した洞窟「氷穴」や「風穴」では、中がとても寒く、狭いことに驚きました。昼食後は、「青木ヶ原樹海」の散策へ出かけます。ネイチャーガイドの方から、樹海の特徴や自然について教わりながら歩きました。1000年以上前に富士山から流れ出た溶岩の上に木が生え、枯れて倒れた木を苗床に、さらに大きな新しい木が生える「倒木更新」という生命の循環が広大な樹海をつくり上げたことを知るなど、神秘的で学びの多い時間となりました。

夕食後は、みんなが楽しみにしていた「キャンプファイヤー」の時間です。学年目標の「フレンド」「ハート」「ハッピー」をテーマに、ゲームやレクリエーション、歌やダンスなどだれもが笑顔で協力して活動していました。高学年として頼もしく感じたひと時でした。1日目は霧雨が降ったりやんだりするあいにくの空模様でしたが、全行程を行うことができました。

2日目のカヌー体験は、5年生の思いが通じたのか、晴天の下で行われました。なかなか目指す方向に進まなかったり、漕げども漕げども同じ場所に留まってしまったり・・・。速く、スムーズに進むためには、ふたりの息を合わせることが大切であることを、実感できた子どもたちが多くいました。

今回の宿泊体験学習を通して、子どもたちは「自分で考えて行動する力」「だれとでも仲良く協力する力」を身に付けることができました。これらの力を10月の「運動会」につなげていきたいと思えます。



キャンプファイヤー
火の神・火の子!



樹海散策
ガイドの方の話に聞き入ります。



カヌー体験
ふたりの息を合わせるぞ!